



足立

区議会だより

発行/足立区議会 ☎03(3880)5996(直通)
http://www.gikai-adachi.jp No.280

第11回 定例会

再生紙を使用しています



早春の富士山(千住新橋上)

足立区議会写真部 いいくら 昭二 撮影

区長提出議案を可決

平成29年度足立区一般会計予算

—区民や団体等が主体となって連携し合い、地域の課題解決に取り組む協創推進体制の構築、確かな学力定着に向けた児童・生徒の学力状況に応じた施策、区民の健康実態を分析した「データヘルス計画」による健康寿命延伸と医療費適正化への取組みが特徴です(8面参照)。

議員提出議案を可決

無料公衆無線LAN(Free WiFi) 環境の整備促進を求める意見書

平成29年第1回 定例会のあらまし

第1回定例会は、2月22日から3月28日までの35日間で開会しました。

本会議初日の区長あいさつの後、各会派を代表する議員、無会派の議員が、2月24日までの3日間にわたり区政全般について質問を行いました。

今定例会では、平成29年度足立区一般会計予算案等、4会計予算案について、原案のとおり可決しました。その他の区長提出議案37件について、すべて原案の

とおり可決したほか、諮問1件を妥当なものと答申しました。

また、議員提出議案8件については、全会一致で6件を可決、賛成多数で1件を否決、1件を継続審査としました。

請願・陳情35件については、1件を採択、他34件を継続審査としました。このほか、副区長の選任及び教育委員会委員の任命に同意しました。

寄附行為の禁止

議員(候補者を含む)からの寄附は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。たとえば入学式・卒業式の行事に対し、寄附・お祝い・差し入れ等を行うことが禁じられています。区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

●主な内容●●●●●

- 2面 ● 区政を問う (各会派代表・一般質問)
- 5面 ● 議決結果
- 6面 ● みなさんからの請願・陳情
 - 今定例会で可決した 決議・意見書(要旨)
 - 副区長の選任に同意
 - 教育委員会委員の 任命に同意
 - 意見の分かれた案件
- 7面 ● 予算特別委員会の討論 (要旨)
- 8面 ● 平成29年度 各会計予算グラフ
 - 平成29年度各会計予算 予算特別委員会審査
 - 委員会活動
 - 平成28年度足立区議会 情報公開制度実施状況
 - 区議会からのお知らせ
 - 議席図・区議会ダイヤル

問

代表・一般質問を平成29年2月22日、23日、24日に開会した第1回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する議員と無会派の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

行財政運営は区民の信頼を得ることが必要不可欠

自由民主党 鴨下 稔 議員



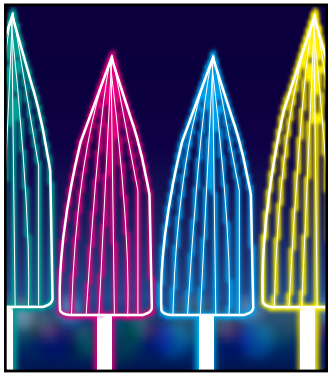
協働から協創への深化を

【問】3月末日までとしている協働における量は、事業数及び団体数とともに増加しているが、質については道半ばと聞く。これからも継続していくためにも、どのようなところを是正していくことが求められるのか。

【区長】協働や協創にかかる情報が圧倒的に不足している点に大きな問題があると考えている。これまで経験したことのない、いわゆる「お役所仕事」を超えた能力や経験が必要とされる。積極的な収納対策の実行を

【問】①現在の基本計画における特別区民税の収納率の目標達成状況はどうか。累積滞納処理はどの程度進んでいるのか。②収納対策について、平成29年度の目標達成に向け、どのような施策を考えているのか。③平成28年度の収納率、23区内の順位の見直しは。④担当職員に対する手当の支給等の配慮をした専門職制度の仕組みについての検討状況は。

【区民】①最終目標は達成できると考えており、滞納繰越分の未収税額を5億円ほど縮減させている。②専門非常勤職員のノウハウをさらに広く活用し、差押えの強化や不良債権の適正な見極めを進め、根雪化した滞納繰越分の



【産業経済】一昨年の光の祭典において、外部事業者による事業評価を実施し、この評価を反映した形で昨年のイベントを実施した。今後も引き続き地域や来場者にさらに喜んでいただくよう、実施方法や内容を常に見直し、イベントのあり方についても検証していく。

町会・自治会活動への支援を

自由民主党 ただ太郎 議員



足立区東部地域のまちづくりに更なる努力を要望する

【問】町会・自治会役員はベテランが多く、若い人たちには町会・自治会組織を拒否する人が多く出てきている。地域コミュニティの維持・確保に向け、組織の立て直し等も含め検討すべきと考えるがどうか。

【問】①綾瀬駅及び北綾瀬駅周辺について、まちづくりの観点から住宅用途を規制する等、駅周辺に必要な本来の商業用途を遵守してもらう何らかの規制

【問】町会・自治会役員はベテランが多く、若い人たちには町会・自治会組織を拒否する人が多く出てきている。地域コミュニティの維持・確保に向け、組織の立て直し等も含め検討すべきと考えるがどうか。

【地域】加入率低下の現状や各町会・自治会の取り組み状況を勘案し、個々の町会・自治会への支援を検討していく。また、町会・自治会の意識改革を促し、組織の活性化への支援を続けていく。

【福祉】①今後さらに医療と介護の連携を強化し、在宅や介護施設における医療ケアや看取りが可能な体制の構築が必要であると認識している。②一部のサービスについて供給不足が発生していると聞いています。通常の訪問介護や看護等に大きな需給ギャップがあると認識していない。

【市街地】交通広場の面積に余裕がない上、敷地形状により設置場所を限定せざるを得ないが、その場所も近隣住民から強い反対があり、設置が困難な状況である。引き続き、交通広場周辺において、民間も含め公衆トイレ機能確保の可能性を積極的に検討していく。



【衛生】区では国に先んじて、平成24年4月から公園を含む区の施設を原則として敷地内禁煙としている。また、受動喫煙防止対策実施施設登録制度を創設し、区民が

喫煙と非喫煙を自主的に選択できる環境づくりも進めている。

【問】①在宅医療、在宅看取りに移行するための取り組みが重要となると思うがどうか。②人材確保やサービスの必要量と実態とのギャップをどのように把握しているのか。

【福祉】①今後さらに医療と介護の連携を強化し、在宅や介護施設における医療ケアや看取りが可能な体制の構築が必要であると認識している。②一部のサービスについて供給不足が発生していると聞いています。通常の訪問介護や看護等に大きな需給ギャップがあると認識していない。

【市街地】交通広場の面積に余裕がない上、敷地形状により設置場所を限定せざるを得ないが、その場所も近隣住民から強い反対があり、設置が困難な状況である。引き続き、交通広場周辺において、民間も含め公衆トイレ機能確保の可能性を積極的に検討していく。

【都市建設】①地区計画に基づく建築条例の制定や環境整備基準の条例化による協力要請、区と事業者の協定締結制度等が想定されるが、実施案の詳細は、今後検討を進めていく。②計画住戸数に応じた子育て支援に供する施設の設置は、環境整備基準から条例への改正を平成29年度中に目指していく。

【問】常に交通量の多い環七の橋の架け替えの際には仮橋が必要となると思うが、仮橋は現在の橋の北側、南側どちらに設置される計画であるのか。

また、仮橋周辺の道路整備については、仮橋撤去後の有効活用も視野に入れて計画をしていく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

【都市建設】現橋の南側に仮橋を設置し、現況交通を迂回させた上で現橋を撤去し、新橋を元の位置に整備する計画である。仮橋の有効活用を図るため、本橋完成後は区民が利用できる側道として活用する方針である。安全に配慮したアクセスを

が必要ではないか。②多くの戸数を有する住宅建設には子育て支援施設の設置をしてもらうよう、民間への働きかけをこれまで以上に強化することが必要と考えるがどうか。

【都市建設】①地区計画に基づく建築条例の制定や環境整備基準の条例化による協力要請、区と事業者の協定締結制度等が想定されるが、実施案の詳細は、今後検討を進めていく。②計画住戸数に応じた子育て支援に供する施設の設置は、環境整備基準から条例への改正を平成29年度中に目指していく。

【問】常に交通量の多い環七の橋の架け替えの際には仮橋が必要となると思うが、仮橋は現在の橋の北側、南側どちらに設置される計画であるのか。

また、仮橋周辺の道路整備については、仮橋撤去後の有効活用も視野に入れて計画をしていく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

【都市建設】現橋の南側に仮橋を設置し、現況交通を迂回させた上で現橋を撤去し、新橋を元の位置に整備する計画である。仮橋の有効活用を図るため、本橋完成後は区民が利用できる側道として活用する方針である。安全に配慮したアクセスを

【問】中川公園へのアクセスは、安全に配慮し、誰もが負担なく来園してほしいと考える。現在、土づくりの里近くにある歩道橋は階段のみで、ベビーカーや高齢者には利用しづらい。広くバリアフリーに配慮した歩道橋を新設し、環七横断歩道を利用せずとも、誰もが安全に環七を渡り公園に向かえるよう整備することを要望するが、区の見解を伺う。

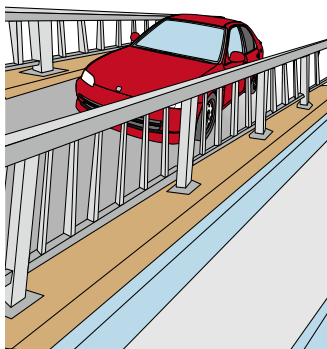
【都市建設】交通量の多い環七の横断や近隣からのアクセスに制約があるので、バリアフリーに配慮し、移動しやすい整備を目指していく。

【問】①花畑川環境整備計画見直しの目的は、前計画と比較してどのように整理されるのか。②富士見橋の架け替えを一刻も早く行い、交通整理につなげるべきと思うがどうか。

【道路整備】①バリアフリー化の推進、橋りょう等の更新コストの低減を主な観点として見直しを進めている。

自然と子どもたちという財産をどう伸ばしていくか

自由民主党 長澤 興 祐 議員



【問】①花畑川環境整備計画見直しの目的は、前計画と比較してどのように整理されるのか。②富士見橋の架け替えを一刻も早く行い、交通整理につなげるべきと思うがどうか。

代表・一般質問

本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
<http://www.gikai-adachi.jp>

区政を

②神明地域での交通状況を調査した上で、車道橋としての整備についても検討する。

【みどり】③今後も引き続き保存樹木や保存樹林の指定を進め、樹名板を設置する等、周辺区民の皆さんに樹林の大切さを理解していただけるよう努めていく。

競争社会を乗り切るための力・土台づくりの優先を

【問】①児童・生徒の学力格差を教育委員会の責任において最小化することが必要だと考えるがどうか。

②中学生の学力向上について、いつまでにどの程度成績を上げるのか、具体的対策を伺う。

③0歳児から教育に取り組む15年教育の視点を持つてはどうか

【学力定着】①児童・生徒間に

足立区議会公明党

人と環境にやさしい街へ！

学校などの整備を進めよ！

公明党 小泉 ひろし 議員

東京オリンピック・パラリンピックに向けたまちづくり

【問】各公共施設や主要駅周辺のサイン表示等に不十分な表記が見られる。オリンピック開催に向けて総点検を行い、ローマ字併記等も取り入れる等、戦略的に推進すべきだが見解を伺う。

【都市建設】まず主要4駅と区役所周辺を優先に総合的調査を実施し、施設管理者とともに改善に取り組んでいく。ローマ字表記等も積極的に推進していく。

【問】①省エネ家電製品購入費

温暖化対策へ助成とLED化を

おける基礎学力の定着度に格差が生じないよう全力で取り組んでいく。

②教員の授業力向上を図り、わかる授業、魅力ある授業を届ける取り組みを充実させていく。

③15年間の子ども成長を意識しつつ、子どもの発達段階に応じた連携をより一層推進していくため、より効率的・効果的な事業が実現できるよう再構築を図っていく。



補助金制度は、29年度さらに拡充すべきだが伺う。

②区は約3万の小型街路灯のLED化を進めている。しかし、約7千の大型街路灯には採用していない。大型街路灯のLED化を積極的に図るべきだが伺う。私道防犯灯助成制度によるLED化も、さらなる周知で利用促進すべきだがあわせて伺う。

【環境】①29年度補助件数を当初から3千件の予定とし、拡充は必要に応じて検討していく。

【道路整備】②29年度から毎年約350灯のLED化を進める。

私道防犯灯は、平成36年度までの8年間でLED化を目指す。助成制度の利用を促していく。

【問】ホームの内側がわかる内方線付き点状ブロックについて、五反野駅や西新井駅等の早期整備を要望するが見解を伺う。

【福祉】五反野駅と西新井駅については国の補助金も確保でき。区と都もあわせて補助金を交付し28年度中に整備していく。

【西新井駅に東西自由通路を】

【問】都市計画による西口交通広場の整備を進めることから、国の補助金を活用した東西自由通路の整備手法を、区がリーダーシップを発揮し組み立てていくべきだがどうか。自転車利用も考え、駅改札に近く利用しやすい場所を選択すべきだが伺う。

【市街地】補助金を導入し、バリアフリーで自転車も通行可能な、より改札に近い東西自由通路の実現へ鋭意取り組んでいく。

【学校施設の環境改善を急げ】

【問】かねてより我が党は、小・中学校の特別教室におけるエアコン設置を要望してきた。どのように進めていくのか伺う。

【問】都は公立小・中学校のトイレ洋式化に29年度予算を増額した。区は28年度から7年間の計画を進めている。都補助金を活用し計画を前倒しすべきだが伺う。

【学校教育】近年、改築や大規模改修した学校を除く、小・中学校合計91校を対象に、29年度は13校の経費を計上し、残る78校は30年度中に完了予定である。早期にトイレ環境の整備を進め、教育環境の充実を図りたいと考える。最大限活用の上、前

倒しできるよう取り組んでいく。多様な学び場、居場所の確保を

【問】不登校児童・生徒の増加から、29年度はチャレンジ学級や別室登校等を拡充予定と聞く。さらなる対応をすべきだが伺う。

多様な学びの場や居場所等、施設の確保と情報提供が重要と考える。特別校や不登校対策の小・中一貫教育校、体験施設等を設置すべきだが伺う。

【教育長】29年度に拡充し、必要に応じさらなる拡充も検討していく。

コミュニケーションや様々な活動を体験できる居場所、不登校特別校の設置も検討している。



【問】待機児童解消へ都補助金を活用

【問】都は29年度予算編成で保育サービス事業に様々な施策を盛り込んだが、区としてどのように活用し展開をしていくのか。都の保育士キャリアアップ補助制度等、公定価格に処遇改善の仕組みが盛り込まれていることだが、効果や実績をどのように見極めていくのか伺う。

【子ども】最大限活用して、平成30年4月の待機児ゼロを目指していく。区の保育士等住居借上げ支援事業は、都事業に合わせ勤続年数条件を撤廃しており、さらに29年度から栄養士等を対象に加えることを検討している。処遇改善分は、実績報告書の

給与支払の確認を行っている。年度当初に改善計画の提出を求めている。

文化芸術振興と生涯スポーツ振興の充実を！

公明党 前野 和男 議員



【問】一昨年、区内中学校がマ

ーチングバンド部門で全国大会金賞を獲得、昨年は練習会場の確保に大変苦労し、十分な練習ができなかったものの銀賞を獲得した。今後、練習会場の確保が課題として挙げられたが、学校だけでは困難なことから、全庁的連携で支援体制をつくるべきと思うが見解を伺う。

【学校教育】学校の環境によっては、苦労している実情を伺っており、28年度より地域のちから推進部と連携し、練習場の確保に努めてきた。28年度は、調整時期が遅くなったため要望に応えることができなかったが、29年度に向けて早急に日程調整を開始し、安心して練習に集中できるように、確保に努めていく。

【問】現在、区内サッカークラブは134団体、競技人口は高校生



【地域】これまで区は都に対して、舎人公園陸上競技場の夜間照明の整備とあわせてフィールドの人工芝化を要望している。区営人工芝グラウンドの設置と夜間照明の整備については、今後、第三次生涯スポーツ振興計画とあわせて、各施設個別の整備計画において検討していく。

区民の皆様が健康で心豊かに暮らせる環境作りを！

公明党 さの 智恵子 議員



【問】区は糖尿病対策アクションプラン「おいしい給食・食育対策編」を策定、「あだち食のスタンダード」を作り、次代

を担う子どもたちへの施策に重点を置くとしている。29年度から各学童保育室に栄養士を派遣して、児童による料理教室・おやつ講座を実施することだ

が、いろいろな野菜を使ったメニューにする等、野菜に興味を持てる取り組みにはどうか。

【地域】栄養士の指導を受けながら、児童自身がいろいろな野菜を使った料理を作ること、野菜に興味を持ち、野菜を含んだバランスの良い食事を選ぶことができるよう取り組んでいく。

【問】「公共施設の利用状況に関する区民アンケート調査」では、地域図書館を利用したことがないと答えた人は58%と、今後区民のニーズに応え足を運んでいただく魅力ある図書館の施策が必要と考える。区民が、地域図書館に対してどのようなサービスや蔵書を望んでいるのか、アンケート調査は有効と考えており、インターネットを含め、実施方法を検討していく。



日本共産党足立区議団

格差解消の再配分機能、個人の尊厳を擁護する政治を

日本共産党 針谷 みきお 議員



格差解消、尊厳擁護の政治へ

【問】区民格差と中間層の疲弊を解消するには、再配分機能強化とともに、経済民主主義を確立し、人間の尊厳を擁護する政治が求められているかどうか。

【区長】一方に極端に走るのではなく、良いところを取り入れたベストミックスの考え方で区政を回していきたいと考える。

区政情報のブックボックス化

【問】①指定管理者選定の議案審査の際、提案内容を求めた議員に、区は情報公開請求するよう求めた。審査に必要な資料は情報提供すべきだったがどうか。

【政策経営】現在の区民生活とともに、将来の区民生活を支えることも考慮して編成している。組み替える考えはない。

【問】①通学距離と通学時間の矛盾を指摘された今回のガイドラインは、子どもの未来を危うくするガイドラインではないか。

②24学級までを適正規模とした狙いは、統廃合計画が成り立たなくなるからではないか。小規模校存続等、多様な区民要望に応えることが必要ではないか。

③統廃合の対象とした学校は人口増が予測される地域の学校である。ガイドラインは凍結、撤回すべきだがどうか。



【教育長】①通学時間・通学距離は目安であり、長くなる場合は

安全、安心と住民の声を

生きるまちづくりを

日本共産党 はたの 昭彦 議員



住民の声に応え交通権の保障を

【問】①コミュニティバスの新規路線開設は、導入支援を行い、早期実現すべきだがどうか。

②総合交通計画短期路線の実現は難しいと諦めず、最後まで実現を目指すべきだがどうか。

【問】①北綾瀬駅周辺交通環境改善計画の策定では、住民要望を最優先にすべきだがどうか。

②まちづくり協議会は、町会等の代表者だけでなく、地域住民からも公募すべきだがどうか。

③しょうぶ沼公園広場にある噴水を親水型噴水として整備し、ファミリー層が楽しめるようにしてはどうか。

【問】①都建築安全条例の対象に長屋を加えるよう改正を都に再度働きかけるべきだがどうか。

②自主条例で横浜市同様、長屋の戸数制限をすべきだがどうか。

③近隣トラブル防止に向け、建築主と特定行政庁の協議を求めている。どのように進めるのか。

【建築】①他区と連携して条例改正の必要性を訴え、実現に向けた働きかけを継続していく。

②都の所管となるため、都条例改正を働きかけていく。

③まずは建築主へ防止策を示すよう指導し、今後は、近隣トラブル防止に向けた建築主と区との協議のあり方を研究していく。

【都市建設】①財政支援の実施予定はないが、社会実験の可能性について検討を進めていく。

②現施策を補完する新たな交通手段や代替案の検討等を行い、計画実現を目指していく。

北綾瀬駅を含めたデザインを描け

【問】①町会、自治会、商店街の代表の方と相談していく。

③まちづくり協議会等で意見を伺い、整備方針を策定していく。

【資産管理】④綾瀬地区も含め、交通利便性が高く、使いやすい立地での誘致を目指していく。

足立区議会民進党

足立区に集う皆が安心して暮らせるやさしい足立区を

民進党 長谷川 たかこ 議員



医療的ケアが必要な児童への支援を充実させよ

【問】医療的ケアが必要な児童への支援が既存の制度では追いつかなくなっている。区として先鋭的な方策を検討すべき重要課題と捉えるがどうか。

【福祉】平成29年度からは都の補助金を受け、在宅で重症心身障がい児(者)を介護している家族等の負担軽減を図ることを目的とした、重症心身障がい児(者)在宅レスパイト事業を実施する予定である。区と都が協力しながら、医療的ケアが必要な方への施策を推進していく。

外来植物の速やかな防除を

【問】厚労省指定の自然毒がある外来植物「ヨウシュヤマゴボウ」が区の公園に生息している。



【問】全国的にも、3歳児健診の視覚検査で異常なしと言われた子どもたちが小学校入学前後の健診で弱視が見つかるケースが相次いでいる。乳幼児の視覚発達についての重要性を発信し、すべての子どもたちが正常に発達できるよう、小児の視機能管理に尽力してほしいがどうか。

3歳児健診による視覚検査

【問】全国的にも、3歳児健診の視覚検査で異常なしと言われた子どもたちが小学校入学前後の健診で弱視が見つかるケースが相次いでいる。乳幼児の視覚発達についての重要性を発信し、すべての子どもたちが正常に発達できるよう、小児の視機能管理に尽力してほしいがどうか。



【衛生】発達段階に応じた視覚に関する情報提供が、保護者への理解を深める面からも肝要である。適切な時期に情報提供できるよう、パンフレット等の内容を充実していく。視機能管理は今後の研究課題としたい。

若者参画のまちづくり

新田地域のまちづくり

民進党 おぐら 修平 議員



一人ひとりが主体となるまちへ

【問】基本構想策定にあたり、中高生のワークショップを実施したが、若者等が一主体として参画する仕組みづくり等を構築

【政策経営】今後、主要な計画策定や施策実施の際に、時間帯や意見提出の方法等、参画しや

用語解説

*重症心身障がい児(者)在宅レスパイト事業：重症心身障がい児(者)を支える家族等の負担軽減を目的とし、訪問看護師等を自宅に派遣して一定時間医療的ケアを提供する事業。

用語解説

* 剥奪指標：社会で通常必要と考えられる食事・栄養・衣服・住環境・教育・社会体験等の項目を選定し、その充足度を指標化したもの

すい状況を整えた上で実施した
いと考えている。

はるかぜ8号(宮城・小台循環)
新田地域への延伸を

【問】①交通渋滞箇所には迂回
路を活用すべきだがどうか。

②運転士確保に向けての支援を
区で実施すべきだがどうか。

③新田地域延伸の社会実験を
実施すべきだがどうか。

【都市建設】①バス事業者から、

無会派

見えない「貧困」の可視化
を！尊厳ある暮らしを守れ

無会派 土屋のりこ 議員



子どもの健康・生活実態調査の
結果から見えてくるもの

【問】区では「生活必需品が不
足している世帯」は約16%とい
うが、*剥奪指標について今の歯
磨きや読書状況から踏み込み、
区の未来を担う子どもたちの実
態把握を進めるべきだがどうか。

【貧困対策】子どもの健康・生
活実態調査においては、今後も
継続的に調査を行い、各年代で
比較して見ていくことから、現
時点で剥奪指標項目を変更する
考えはない。

一方、今年度実施したひとり
親家庭の実態調査においては、
ひとり親家庭の実態を詳しく把
握するために、合計46項目の剥
奪指標を取り入れている。今後、
新たに実施する調査については、
調査目的に応じて、剥奪指標の
項目を検討していく。

【問】高松市長は「要支援の一

最短経路でない路線として成
り立たないとの回答を得ている。
このため、補助第18号線完成後
の可能性を協議していく。

②区としてバス事業者の経営領
域の中でどのようなことが可能
か調査・研究していく。

③短期施策の検証作業において
北千住方向への一定の需要が確
認されたことから、社会実験の
可能性を検討していく。

部サービスを市区町村の独自事
業に移行している最中だ。その
検証もできていない段階で、要
介護1、2を移行する話は、あ
まりにも時期尚早だ。」と意見
を述べている。もっともだと思
うが、区は要介護の保険外しに
ついて、どういう認識をもつか。

【福祉】時期尚早であるとい
う高松市長の発言については、区
としても共感できる。社会保障
審議会介護保険部会においても
同様の理由から、移行は困難と
判断され、この度の通常国会に
提出された介護保険改正法案に
も盛り込まれていない。

第1回定例会での
議決結果

区長提出議案

可決したもの

平成29年度予算・補正予算

平成29年度足立区

一般会計予算

国民健康保険特別会計予算

平成29年度足立区

介護保険特別会計予算

平成29年度足立区

後期高齢者医療特別会計予算

(4会計予算の内容は8面に掲載)

平成29年度足立区

一般会計補正予算(第1号)

補正額 1億7千548万3千円

予算総額 2千743億1千723万5千円

平成28年度補正予算

一般会計補正予算(第5号)

補正額 56億4千407万7千円

予算総額 2千892億3千932万4千円

(日本共産党足立区議団より
反対の立場から討論あり)

平成28年度足立区国民健康保
険特別会計補正予算(第3号)

補正額 △9億1千336万7千円

予算総額 955億8千640万9千円

平成28年度足立区介護保険
特別会計補正予算(第2号)

補正額 △7千545万7千円

予算総額 535億4千934万4千円

(日本共産党足立区議団より
反対の立場から討論あり)

平成28年度足立区後期高齢者
医療特別会計補正予算(第2号)

補正額 4億5千390万8千円

予算総額 136億3千965万8千円

条例

◆足立区長等の給料の特例に関
する条例
区長及び副区長の給料月額
を減額するもの

◆足立区プロポーザル選定委員
会条例
足立区プロポーザル選定委
員会を区長等の附属機関とし
て設置するもの

◆足立区組織条例の一部を改正
する条例
危機管理部を新設し、分掌
事務を改めるもの

◆足立区特定個人情報保護条例
の一部を改正する条例
行政手続における特定の個
人を識別するための番号の利
用等に関する法律の改正に伴
い、規定を整備するもの

◆足立区個人番号の利用及び特
定個人情報の提供に関する条
例の一部を改正する条例
個人番号を利用する事務を
追加するもの

◆足立区職員定数条例の一部を
改正する条例
職員の定数を改めるもの

◆足立区人事行政の運営等の状
況の公表に関する条例の一部
を改正する条例
人事行政の運営等の状況に
関し、区長に報告する事項を
改定するもの

◆足立区職員の勤務時間、休日、
休暇等に関する条例の一部を
改正する条例
以上、2議案いずれも育児
休業、介護休業等育児又は家
族介護を行う労働者の福祉に
関する法律等の改正に伴うも
ののほか、規定を整備するもの

◆足立区職員の育児休業等に関
する条例の一部を改正する条例
地方公務員の育児休業等に
関する法律の改正に伴うもの
のほか、規定を整備するもの

◆足立区職員の配偶者同行休業
に関する条例の一部を改正す
る条例
配偶者同行休業の再度の延
長ができる場合について定め
るもの

◆足立区営住宅条例の一部を改
正する条例
一般区営住宅の使用許可に、
使用期間を限る定期使用許可
を加えるほか、規定を整備す
るもの

◆足立区河川流水占用料等徴収
条例の一部を改正する条例
流水占用料等を改定するもの

◆足立区住宅・建築物耐震助成
条例の一部を改正する条例
助成の対象に建替え工事を
加えるほか、規定を整備する
もの

◆足立区における保育の利用等
に関する条例の一部を改正す
る条例
西新井保育園を廃止するもの

◆足立区事務手数料条例の一部
を改正する条例
社会福祉法及び建築物の工
ネルギー消費性能の向上に関
する法律の改正に伴い、規定
を整備するもの

◆足立区国民健康保険条例の一
部を改正する条例
保険料率等を改定すると
ともに、規定を整備するもの
(日本共産党足立区議団より
反対の立場から討論あり)

◆足立区社会福祉法人の助成に
関する条例の一部を改正する
条例
助成内容を拡充するもの

◆足立区子どもの医療費の助成
に関する条例の一部を改正す
る条例
足立区ひとり親家庭等の医療
費の助成に関する条例の一部
を改正する条例
以上、2議案いずれも児童
福祉法の改正に伴い、規定を
整備するもの

◆足立区介護保険条例の一部を
改正する条例
保険料率を改定するもの

◆伊興小学校外構その他工事請
負契約

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆伊興小学校外構その他工事請
負契約

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

特別区道路線の認定

所在地	幅員 (m)	延長 (m)
江北四丁目地内	11.00 ~ 11.03	89.20
島根四丁目地内	6.00 ~ 6.01	64.43

区管理通路路線の廃止

所在地	幅員 (m)	延長 (m)
島根四丁目地内	3.63 ~ 5.46	64.43

報告

◆和解について
北鹿浜公園に設置した太陽
光発電パネルの損壊について
和解するもの

◆議決を得た契約の変更
亀田小学校増築その他工事

◆訴えの提起について
足立区補助金等交付事務規
則及び足立区認証保育所運営
費等補助要綱に基づき、返還
を決定した補助金並びにこれ
に対する違約金及び遅延損害
金並びに訴訟費用を請求する
もの

◆和解について
鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築工事
の損害について和解するもの

諮問

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員候補者として、漆原康次氏、藤波道子氏、町田伸明氏を法務大臣に推薦するため、区長から議会の意見を求められ、異議ないものと答申しました。

議員提出議案

可決したもの

足立区歯科口腔保健推進条例
区民の歯科口腔保健に関する施策を計画的に推進し、もって区民の健康寿命の延伸に資するもの

足立区議会委員会条例の一部を改正する条例
足立区組織条例の改正に伴い、規定を整備するもの

北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議

日暮里・舎人ライナーの輸送サービスの改善を求める意見書
無料公衆無線 LAN (Free WiFi) 環境の整備促進を求める意見書

いじめへの対策推進を求める意見書
(決議・意見書要旨は別掲)

否決したもの

足立区学校給食費助成条例
助成金を交付することにより保護者の負担軽減を図るとともに、子育て支援及び教育の充実に寄与するもの
(日本共産党足立区議団より否決に反対の立場から討論あり)

継続審査としたもの

足立区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
子どもの医療費助成が受けられる年齢を拡大するもの

みなさんからの請願・陳情

採択したもの

日暮里・舎人ライナーの輸送サービスの改善についての意見書提出を求める陳情
見書提出を求める陳情

今定例会で可決した決議・意見書(要旨)

北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議
2月12日、北朝鮮は、新型中距離弾道ミサイルを発射した。北朝鮮の行動は、核兵器の開発と不可分に結びついた軍事行動である。度重なる核実験とともに、国際社会に対する重大な挑戦であり、北朝鮮が幾度となくその国際的義務を無視していることは、挑発的であり決して容認できない。

平和と安全の都市宣言を行っている足立区として、国際社会の平和と安全を脅かす暴挙は、断じて容認できず、厳しく糾弾するものである。
よって、足立区議会は、北朝鮮のミサイル発射に対し嚴重に抗議するとともに、核・ミサイル・拉致問題の早急かつ包括的な解決を図るため、政府が国際社会と連携して北朝鮮に対する圧力の強化を追求していくことを強く求める。
以上、決議する。

日暮里・舎人ライナーの輸送サービスの改善を求める意見書
日暮里・舎人ライナーでは、開業後に沿線住宅の供給が進んだ結果、平日の朝ラッシュ時には輸送力不足が深刻化している。現在、すべての列車が5両編成で運行しているが、全列車を6〜7両編成に増結することで、ラッシュ時でも途中の駅から乗車できるよう、混雑を緩和する必要がある。

また、土曜・休日ダイヤにおける最終列車の日暮里駅発車時刻は、平日ダイヤと比べて30分以上早い場合、利用者はかなりの不便を強いられている。
よって、足立区議会は東京都に対し、左記事項の実現を強く求めるものである。
記
1 現行の5両編成から6〜7両編成に増結を行い、平日朝ラッシュ時の混雑を緩和すること。
2 土曜・休日ダイヤにおける最終列車の日暮里駅発車時刻を、平日ダイヤ並みに繰り下げること。

(東京都知事あて)
無料公衆無線 LAN (Free WiFi) 環境の整備促進を求める意見書
2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、通信環境の整備、とりわけ無料公衆無線 LAN (Free WiFi) 環境の整備は喫緊の課題となっている。
2014年度に観光庁が行った「平成26年度訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関する現状調査結果」によると、旅行中最も困ったこととして、無料公衆無線 LAN 環境が30.2%と最も高く、特に公共施設や観光施設における WiFi 環境の普及や利用手続きの簡便性の面での課題が指摘されている。
よって、足立区議会は政府に対し、WiFi 環境の整備促進はインバウンドのさらなる増加だけでなく、防災拠点となる公共施設等の災害時における通信手段の確保にも大きく貢献することから、左記事項の実現を強く求めるものである。
記
1 鉄道・バス等の公共交通機関やホテル・旅館等の宿泊施設などの民間施設に対する WiFi 整備支援事業を一層拡充すること。
2 日本遺産・国立公園等の観光拠点や観光案内所における WiFi 環境の整備を一層促進し、観光地の機能向上や利便性向上を図ること。
3 防災の観点から、避難所・避難場所の学校、市民センター、公民館等の防災拠点や、博物館・自然公園等の被災場所として想定される公的拠点への WiFi 環境の整備を行う地方公共団体に対して、財政的支援措置を導入すること。

(内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣あて)
いじめへの対策推進を求める意見書
子どもたちが安全に安心して過ごせる場所であるはずの学校において、現に放射能避難の子どもたちへのいじめを始め、いじめによる自死など、いじめの重大な事案が後を絶たない。文部科学省が発表した平成27年度におけるいじめの認知件数は、小・中学校で21万件を超えている。2013年(平成25年)にいじめの防止・早期発見・対処について定めた「いじめ防止対策推進法」が制定されたが、教職員の業務が煩雑・多忙化していることもあり、その運用が浸透しているとは言えない。子どもたちが安心して学べる教育現場の実現を、一刻も早く一層推進させなくてはならない。よって、足立区議会は国会及び政府に対し、教職員の業務の煩雑・多忙化を解消し、子どもたちの命を守るいじめ防止こそ、学校が最優先で取り組むべき重要課題であることを学校や教職員に対して徹底し、いじめ防止へのさらなる意識の向上とともに、子どもたちが安全に安心して教育を受けられる環境づくりを進めるよう強く求めるものである。

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣あて)
議決日
決議：2月22日
意見書：3月28日
副区長の選任に同意
副区長について、区長から選任同意が求められ、議会はこれに同意しました。
副区長 長谷川 勝美
教育委員会委員の任命に同意
教育委員会委員について、区長から任命同意が求められ、議会はこれに同意しました。
教育委員会委員 浅井 えり子

用語説明

*インバウンド：訪日外国人旅行者または訪日外国人旅行のこと

意見の分かれた案件(49件中12件)

※自民…足立区議会自由民主党 公明…足立区議会公明党 共産…日本共産党足立区議団 民進…足立区議会民進党 無派…無会派
―上記以外の案件(37件)は、全会一致で可決されました。 ※○…賛成 △…継続 ×…反対 欠…欠席 除…除斥 退…退出

Table with columns for party names (自民, 公明, 共産, 民進, 無派) and rows for various council resolutions and proposals, including budget items and legislative amendments.

足立区議会 自由民主党

討論者



藤沼 次
委員

本予算案は「今、協働のその先へ。協働への1stステップ」と銘打ち、30年後の将来を目指し、文字どおりの第一歩を踏み出すための予算である。

事業内容を見ると、「ひと」の施策は、平成30年4月待機児童ゼロを目指した取組み、確かな学力の定着に向けた取組み、不登校対策やひとり親家庭への支援と子どもへの貧困対策への取組み。「くらし」の施策は、警視庁と連携した治安対策、健康寿命の延伸と医療費の適正化に向けた健康対策。「まち」の施策は、大学病院誘致の推進と防災対策。「行財政」の施策は、協働推進体制の構築など、これらの重点施策は今日の課題等も含まれており、区民にとって極めて大事な施策であり、万般に渡って目配りのきいたものとなっている。その中でも、

足立区議会 公明党

討論者



美 幸
委員

平成29年度予算は「今、協働のその先へ。協働への1stステップ」と銘打ち、規模は一般会計当初予算総額で2千741億円と、前年度と比べ11億円の増額、3年連続で過去最大の更新となった。

歳入においては8億円余の増収が見込まれる一方、歳出では今後経費の増大が見込まれるため、より一層、自主財源の安定確保に努めなくてはならない。

子ども施策では、学力向上対策や英語教育の充実として3つの新規事業が盛り込まれている。未来へつなぐあだちプロジェクトは、ひとり親家庭支援や居場所を兼ねた学習支援の拡充に取り組むとしている。

くらし施策では、糖尿病対策強化やデータヘルズ計画、地域包括ケアシステムグラウンドデザインの策定、区内経済活性化や治

子ども施策は全国的にも先進的な取組みが目され、区長の優れた感性によるものと敬意を表す。また、大学病院誘致は区民永年の悲願であり、平成29年度こそが、大学病院誘致を確実にする最も大事な1年と認識し、議会と執行機関が一体となって運動していかなければならない。

予算特別委員会が我が党委員から指摘した事項や提案及び要望については、本予算の執行と今後の区政運営に確実に反映するように強く求める。

なお、共産党から提案された修正案は、公共サービスの外部化反対、保育園の民営化反対、長期的視点に立った施設の再整備計画反対等々、我が党とは根本的に意見の相違があり、賛成することはできない。

最後に、今日の世界政治の急激な変動と東アジアの動揺を鑑み、区政運営においても、今後は不測の事態や景気の急激な変動に備え、一層堅実な財政運営に努めていくことを要望する。

安及び美化推進事業等、安心して暮らせるために諸課題に対応する予算となっている。

まちづくり施策では、災害に強い安全・安心なまちづくりの取り組みや、竹ノ塚駅付近近道高架化事業等を推進するとしている。エリアデザインを進めるにあたっては、地元要望に配慮しながら、地域の活性化に資するよう推進していくことが重要だ。

経営改革施策では、「協働」の実現に向け、4つの視点で基本的方向を整理して事業を構築・展開することに期待し、多様な人々や団体等がゆるやかに繋がることで、より力を発揮できるネットワーク作りを推進すべきと考える。

なお、共産党提出の修正案については、今後の中・長期的な区政運営を考慮した案とは言えず、到底賛成できるものではない。

最後に、今回の予算特別委員会で、我が党の委員から指摘した事項及び提案や要望について、新年度予算の執行やこれからの区政運営に反映させるよう強く求める。

区分	足立区議会 自由民主党		足立区議会 公明党		日本共産党 足立区議団		足立区議会 民進党	
	原案	修正案	原案	修正案	原案	修正案	原案	修正案
一般会計	賛成	反対	賛成	反対	反対	賛成	賛成	反対
国民健康保険特別会計	賛成	反対	賛成	反対	反対	賛成	賛成	反対
介護保険特別会計	賛成	反対	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	反対
後期高齢者医療特別会計	賛成	—	賛成	—	反対	—	賛成	—
一般会計補正予算(第1号)	賛成	—	賛成	—	賛成	—	賛成	—

予算特別 委員会の 討論(要旨)



予算特別委員会委員(23名)

- 市松 鈴 長 鈴 山 前 いく 佐 さ 大 藤 新 鴨 吉 渡 工 た 長 針 淵 白
- 川丸 木 川 木 中 野 いら ぼ た 木 の 竹 沼 井 下 岡 辺 藤 だ 澤 谷 上 石
- おま あ た け ち 和 昭 美 ま さ 智 さ 壮 ひ ひ 哲 太 興 み き 正 輝
- さと こ かり かい 子 男 二 幸 さ ひ こ 恵 子 次 お 稔 茂 あ き 也 郎 祐 お 隆
- 委員

日本共産党 足立区議団

討論者



鈴木 けんいち
委員

区民の生活状況を見ると、年所得100万円から300万円の低所得層が増える一方、550万円から1千万円の区民は減り、中間層の疲弊と低所得層の増加が浮き彫りになった。

第一に、23区で一番高い低所得者の保育料、23区の過半数で行っている介護保険利用料の負担軽減策は実施しないなど、区民に背を向けたままである。我が党は予算修正案を提出したが、過去最高になった基金のわずか0.1%を活用するだけで29の拡充事業が実施でき、区の姿勢が問われる。

第二に、税金の無駄遣いがひど過ぎる。戸籍業務や国民健康保険業務の外部委託を強引に進め、調査委員会からも批判の声が上がった。民間企業への外部委託の間違いは明らかであり、中止すべきである。千住一丁目再開発は、民間のマンション建設に

足立区議会 民進党

討論者



長谷川 たかこ
委員

今後、年少人口や生産年齢人口が減少し、生産人口比率が低下する一方、高齢化率が上昇していく中で、支援体制の新たな整備やさまざまな対策の改善に向けた具体的な支援策等の行政需要の増加が見込まれる。

そのような中、子ども・子育て支援新制度、地域包括ケアシステム、医療、介護等の社会保障や生活困窮者自立支援等、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保と地方財政措置を的確に行うことが必要である。

足立区が区民に一番身近である地方自治体として、変化化する区民ニーズに応える必要な公共サービスを提供するためには、歳入・歳出を的確に見積もることはもとより、人的サービスとしての社会保障の充実、地方財政の確立、さらには自治体間の競争の

40億円の税金を投入して特定業者を優遇するもので、凍結し再検討すべきである。

第三に、放射能の不安解消としての面的測定や食材検査は拒否する一方で、圧倒的に反対の声があっても学校統廃合はガイドラインの策定を進め、公共施設削減のための管理計画を作ろうとしている。

第四に、予算案には災害用定点カメラの画像を令状なしで警察に提供し、個人情報侵害と区民監視につながる予算も含まれており重大である。

国民健康保険特別会計は、5年間で最高の値上げ、後期高齢者医療特別会計は、保険料特例軽減の廃止で10倍の負担増になる区民も生まれ、高齢者の生活を圧迫するものであり賛成できない。

区政が区民に寄り添い、過去最高となった積立基金など豊かな財源の一部を活用して暮らしを支え、義務教育の無償原則の立場から学校給食無料化に踏み出すなど、教育充実を図る方向に転換することを求める。

中、トップランナーとして、区民に向け、安心できる明るい未来を提示できる政策を行うことが求められる。

区長が述べているように、区が主導的に事業を構築し、協働を進める手法では、さらなる協働の深化は期待できず協働力を高めることは困難であり、この反省点を踏まえ、積極的に取り組んでいただくことを要望する。

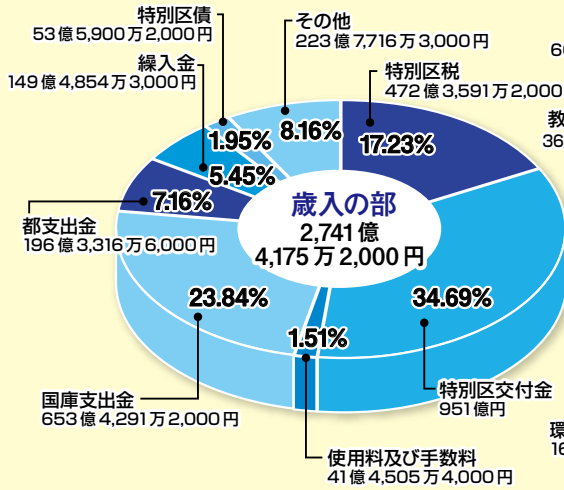
新年度の施策として評価すべき点は、発達障がい児支援事業として、就学前から就学までの相談機能を一本化し、障がいの受容の有無にかかわらず相談できる体制をとる、つながらず支援をすることや不登校対策として子どもへの支援を強化し、個々の状況を丁寧把握して不登校の状況の改善と学校・社会への復帰を図ること、児童養護施設退所者に区営住宅枠を新規で設置する施策方針等、大変評価をするものである。

最後に、委員会での議論の内容を十分に念頭に置き、執行されることを強く要望する。

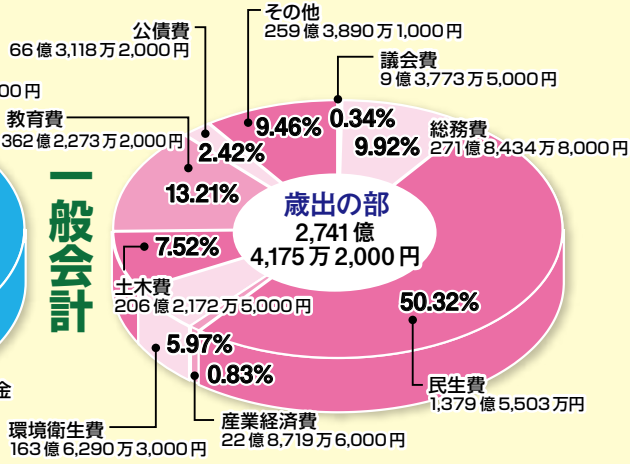
平成 29 年度 各会計予算

*一般会計予算の数値は、補正予算を含んでおりません。
*図の構成比率は四捨五入のため、合計が 100%にならない場合があります。

区分		29 年度	28 年度	増加額	増加率
一般会計	歳入歳出総額	274,141,752千円	273,000,000千円	1,141,752千円	0.42%
国民健康保険特別会計	歳入歳出総額	96,176,004千円	96,151,390千円	24,614千円	0.03%
介護保険特別会計	歳入歳出総額	55,437,692千円	52,954,509千円	2,483,183千円	4.69%
後期高齢者医療特別会計	歳入歳出総額	13,926,455千円	13,179,750千円	746,705千円	5.67%



一般会計



一般会計 歳入の主なもの

特別区税	区民のみなさんから区へ納められた税金 特別区民税、軽自動車税など
特別区交付金	都が課税する固定資産税などを原資にし、都と 23 区間で財源の均衡調整を図る交付金
国庫支出金 都支出金	特定の事業や使いみちのために、国や都から交付される補助金など
繰入金	基金(貯蓄)の取り崩しなど

一般会計 歳出の主なもの

総務費	災害対策や選挙、広報、町会・自治会活動支援に関する経費
民生費	子育て支援、高齢者施策、生活保護などの福祉に関する経費
土木費	道路や公園の整備に関する経費
教育費	学力向上施策や校舎整備、幼稚園補助、生涯学習に関する経費

委員会活動

委員会名	日程	主な内容(件数)				
		審査			報告	その他
		議案	請願	陳情		
総務委員会	1月18日(水)		1	3	5	
	2月27日(月)	17	3	3	15	
	3月28日(火)	1				
区民委員会	1月19日(木)			2	7	
	2月28日(火)			2	11	
	3月28日(火)	1				
産業環境委員会	1月20日(金)				2	
	3月13日(月)				12	
厚生委員会	1月20日(金)	1		8	2	
	3月14日(火)	11		9	13	
建設委員会	1月23日(月)			4	8	
	3月15日(水)	7		4	19	
文教委員会	1月23日(月)		1	3	6	
	3月15日(水)	2	1	3	6	
議会運営委員会	1月30日(月)			1		第1回定例会について
	2月21日(火)					
	3月1日(水)			1		
	3月27日(月)					
交通網・都市基盤整備調査特別委員会	1月24日(火)			1	2	
	3月21日(火)				3	
待機児童・子どもの貧困対策調査特別委員会	1月25日(水)			3	4	
	3月21日(火)			3	7	
災害・オウム対策調査特別委員会	1月25日(水)		1	1	6	
	3月22日(水)		1	3	3	
エリアデザイン調査特別委員会	1月26日(木)			1	3	
	3月23日(木)			1	2	

平成28年度 足立区議会情報公開制度の実施状況

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

請求件数	取下件数	開示	一部開示	非開示	不存在	存否非開示	閲覧	視聴	写し	開示率
7	2	2	0	0	3	0	0	0	2	100%

※開示率は、開示と一部開示を合算した件数を請求件数から取り下げ件数と不存在を差し引いた件数で除したものです。

**平成29年度各会計予算
予算特別委員会審査**

平成29年度各会計予算案を審査するための予算特別委員会が開会され、3月2日から10日までに6日間審査を行いました。

委員会での質疑及び審査結果

平成29年度予算は、「今、協働のその先へ 協創への1st ステップ」と銘打ち、基本構想の将来像の実現に向け、「ひと」「くらし」「まち」「行財政」の視点で体系的に見直した重点プロジェクトを中心に、新基本計画のスタートを切り、着実な施策展開を図るためのものとなっています。

本委員会では、協創のプラットフォーム構築、今後の行財政運営、エリアデザイン、災害・防災対策、滞納対策強化、窓口業務の外部化、子どもの貧困対策、

待機児童対策、子育て支援、健康づくり施策、高齢者支援施策、区内産業活性化、公園や橋りよの整備・管理、学校教育施策、学校統廃合、不登校対策事業等、各委員から区政全般について幅広く質疑が行われました。

また、鈴木けんいち委員ほか2名から、平成29年度「一般会計予算」「国民健康保険特別会計予算」「介護保険特別会計予算」の修正案が提出されました。

質疑終結後、各党派から討論が行われ、5議案及び修正案について採決しました。

(討論の要旨は7面に記載)

本会議での議決結果

3月28日の本会議において、白石正輝委員長より報告がされた後、採決を行いました。

その結果、5議案を原案のとおり可決し、平成29年度予算が成立しました。

区議会からのお知らせ

議員の異動

1月23日付で異動がありました。
馬場信男議員(足立区議会自由民主党) → (無党派)

議会運営委員会委員の選任

うすい浩一議員の議会運営委員会委員の辞任に伴い、2月22日に前野和男議員が新たに委員に選任されました。

足立区議会議席図

(平成29年4月現在)

※2月22日付で議席の一部変更がありました。

区議会ダイヤル

足立区議会自由民主党	☎ 3880-5760
足立区議会公明党	☎ 3880-5765
日本共産党足立区議団	☎ 3880-5770
足立区議会民進党	☎ 3880-5775
無党派(馬場)	☎ 3880-5421
無党派(市川)	☎ 3880-6583
無党派(へんみ)	☎ 3880-5780
無党派(松丸)	☎ 3880-5721
無党派(土屋)	☎ 3880-6559

足立区議会事務局 ☎3880-5996
http://www.gikai-adachi.jp

